会　　議　　録

会議の名称	第２回南方地域開校準備委員会	
開催日時	令和６年９月 26 日（木）	
	午後７時 00 分　開会	
	午後８時 10 分　閉会	
開催場所	南方総合支所　２階　大会議室	
委員出席者	菅　原　真理子　　委員	南方小学校ＰＴＡ
	鈴　木　修　仁　　委員	西郷小学校ＰＴＡ
	亀　井　　希　　委員	東郷小学校ＰＴＡ
	佐々木　賢　悦　　副委員長	南方中学校ＰＴＡ
	髙　橋　俊　朗　　委員	南方小学校学校運営協議会
	堀　内　正　孝　　委員	西郷小学校学校運営協議会
	鹿　野　幸　子　　委員	東郷小学校学校運営協議会
	三　浦　隆　悦　　委員	南方中学校学校運営協議会
	山　田　俊　道　　委員長	南方地域行政区長会
	高　橋　佳　代　　委員	南方幼稚園ＰＴＡ
	浅　野　貴　弘　　委員	南方保育所父母の会
	澤　村　美和子　　委員	南方小学校校長
	佐　藤　　康　　委員	西郷小学校校長
	本　郷　和　也　　委員	東郷小学校校長
	菅　原　栄　夫　　委員	南方中学校校長
事務局出席者	安　部　保　男	学校再編推進室長
	佐　藤　美　紀	学校再編推進室長補佐兼学校再編推進係長
	西　條　貴　伸	学校再編推進室主事
	及　川　佑　衣	学校再編推進室主事
欠席者	なし	
傍聴者	１人	
議事	(1)　統合小学校の学校づくりに関する意見の募集方法について (2)　統合小学校の校名(案)の選定方法について (3)　その他	

挨拶	事務局	開会　午後７時 00 分 第２回南方地域開校準備委員会を開会する。
	学校再編推進室長	（学校再編推進室長挨拶） 挨拶要旨 〇南方地域統合小学校建設の進捗状況について ・現在、校舎の基本設計業務を委託し、進めている。 ・校舎の配置、平面図等については、素案が出来上がり次第、当委員会にお示しし、ご意見をいただきたいと考えている。 ・ただし、開校準備委員会の意見すべてを設計に反映させるとは言えないので、ご理解いただきたい。 〇学校プール施設について ・教育委員会として、今後、学校プール施設の新設、更新は行わない方向で検討している。 ・今後、小学校の統合により校舎建設が予定されている米山・南方

		地域では、学校プールは設置しない方向で進める。 ・プールを設置しない理由としては、近年、暑さが原因でプールの授業ができない日が増えていること。そして、31の小中学校のうち、7割の学校のプールが築後30年以上経過し、施設修繕費などが増大していることなどが挙げられる。 ・学校プールのあり方・水泳授業代替手法の詳細については、今後、この開校準備委員会で説明する予定である。
	事務局	前回の会議録はあらかじめ送付したとおりである。 議事に入る。ここからの進行は委員長にお願いする。
議事	委員長	議事１「統合小学校の学校づくりに関する意見の募集方法について」、事務局に説明を求める。
	事務局	（資料に基づき説明）
	委員長	事務局から説明のあった内容について、質問や意見はあるか。
	委員	「資料１－①」のスケジュール案では、募集締切後、11月中旬に事務局で集計作業を行い、11月下旬の開校準備委員会に報告するとのことだが、この短期間で集計は終わるのか。
	事務局	Googleフォームで受け付けた回答は比較的容易に集計できるので、間に合うと考えている。今後のスケジュールを考えても、この期間に終わらせる必要があるので、応募用紙での応募が多かった場合でも間に合うように集計する。
	事務局	説明に補足する。今回、「資料１－③」として児童用の応募用紙を用意したが、これは今回が初めての試みになる。東和、米山では、このような選択肢から選ぶ方式をとらず、一般と同じ自由記述方式で募集したが、回答が難しかったのか児童・生徒からの応募はほぼなかった。我々としては、学校づくりについても可能な限り児童・生徒の声を反映させたいと考えており、児童も回答できるよう、応募用紙の改善を試みた。 先生方には、ぜひ児童・生徒に回答を働きかけてほしいと考えており、可能であれば時間をとって、回答にご協力いただきたいと考えている。この点についても、ぜひご意見をいただきたいと考えている。
	委員	保育所の場合は、保護者に必ず書いてもらうようにするのか。
	事務局	この意見募集の回答は、任意である。
	委員	任意だと、書かなくてもいいと考える人もいて、意見募集の意味がなくなると思うがどうか。
	事務局	事務局が保育所等に赴き、回答への協力を先生にお願いするつもりである。強制ではないが、できる限りの協力を、先生を通して保護者にお願いするつもりである。

	委員	私の団体の場合は、所長先生がこの委員会の委員ではないので、私から先生に、保護者に必ず回答させるようにお願いしなければならない。その点をどう思うか。
	事務局	所長先生へのお願いは教育委員会が行う。委員からお願いさせる考えはない。ただ、各保護者への声掛けはお願いしたい。
	委員	学校再編準備委員会で統合するかどうか協議した際にも、私がアンケートを作って配り、集計した。任意ではなく、大事なことなので必ず書いてもらうようにした方が良いと思う。それを、事務局から所長先生に伝えてもらえれば、私が言う必要がないので、お願いしたいと思うがいかがか。
	事務局	教育委員会のほうから所長先生にお願いしたいと考えている。ただ、保護者の方へは、委員からも回答を呼び掛けていただければと思う。
	委員	公募方法だが、南方中学校では、事務局案のとおり一般用の応募用紙で構わない。中学校では、朝の会や帰りの会、学級活動の時間を使って、なるべく多くの回答を得られるようにしたい。 応募用紙に各小学校の教育目標が掲載されているが、中学校の教育目標も入れていただきたい。小中学校では、コミュニティスクールの会議や校長の会議などにおいて情報を交換し、教育目標を考えている。なお、目指す児童像・生徒像については必ず「知」「徳」「体」の３つが入っており、バランスがとれた生徒となるように考えられているので、参考にしてもらいたいと思っている。
	事務局	南方中学校の教育目標も掲載することとしたい。意見募集に積極的に取り組んでいただけるとのことで、感謝したい。
	委員	募集期間内に応募数が少なかった場合、期間を延長することは考えているのか。
	事務局	期間の延長は考えていない。これは、校名案、校章、校歌、教育計画等を作成する際の参考資料とするためのものなので、応募件数が少なかったとしても、それを参考資料とする。
	委員	先ほど言ったとおり、保護者に確実に書いてもらった方が多くの回答を得られるので良いのではないか思う。任意ではなく。
	事務局	各委員のご意見はいかがか。 任意ではなく、記入を依頼して原則書いてもらうこととして良いか。 （異議なし）
	委員長	では、幼稚園・保育所では原則書いてもらうようお願いすることとする。事務局で調整をお願いする。

	事務局	各校長先生に回答の呼びかけをお願いしたが、そのほかの委員も、各団体の代表として参加していただいている。各団体内で積極的に回答の呼びかけをお願いしたい。
	委員長	募集期間は短いと感じる。回答が集まるように各委員には声がけをお願いしたい。
	事務局	募集期間が短いのではないかとのご指摘があった。ただ、これまでの傾向をみると、期間を長くとったからといって必ずしもそれに比例して応募が増えるわけではなく、また、今後校名を決めるのに十分な期間を確保した方が良いと考え、22日間とした。
	委員長	この期間は秋の行事が多いので、短いのではないかと思い発言した。各委員にはその点を踏まえて積極的に回答を呼び掛けてほしい。
	委員	募集期間前に各施設に掲示するものがあれば、期間の短さを補えるのではないか。もしくは、早めに応募用紙を配布していただくか。
	事務局	早めに周知することは重要なことと考えているが、掲示物の準備は少し難しいと考えている。市のＳＮＳ等で事前のお知らせができるか検討したい。
	委員	先に回収箱を置いてしまえばいいのではないか。
	事務局	掲示物ではないが、応募用紙の回収箱を各学校や幼稚園等の昇降口などに置いていただくことで、学校づくりの意見募集をしていることを周知する効果があると考え、各学校等にも回収箱を設置する案とした。
	委員	市のホームページを見る機会は少ないと思う。10月初めぐらいから回収箱だけでも置いて周知してもいいのではないかと思う。
	事務局	ご意見に沿えるよう検討したい。
	委員	事務局ではGoogleフォームの回答が多いと見込んでいるようだが、現実には用紙での提出が多いと思う。７割は紙での提出だと思う。先日、西郷地区でも地域づくりのアンケートをとったが、集計はとても１週間では終わらなかった。だから先ほど、集計期間が短いのではないかと指摘した。
	事務局	ご指摘のように紙での応募が多いことを想定し、集計に取り組みたい。
	委員	学校ではタブレット端末があるので、子どもたちや保護者は、Googleフォームでの回答を呼び掛ければ応じてくれるだろう。ただ、そういった環境がなければ、紙で回答する人も多くなる。できれば、学校ではなるべくGoogleフォームで回答した方が良いのではと思う。 また、回収箱を使った応募ＰＲの話があったが、西郷小学校では10月

		12日に学習発表会があり、南方小学校と東郷小学校では10月19日に学芸会がある。保護者が多く来校するので、その機会を捉えればより良いアピールになると思う。
	事務局	ご意見に沿えるよう取り組みたい。 確認だが、区長配布とは別に、学校を通して保護者の応募用紙も配布することについては、問題ないか。また、応募用紙の回収箱はその学校の児童・生徒のほか、その保護者も投函できる扱いとして良いか。
	委員	問題ない。 回収箱には、子どもを通じて投函させる保護者もいるだろうし、学校行事等の際に直接投函する保護者もいるだろう。どちらでも問題ない。
	委員長	そのほかにないか。 （なし）
	委員長	では、事務局に公募の準備をお願いする。 次に、議事２「統合小学校の校名(案)の選定方法について」、事務局に説明を求める。
	事務局	（資料に基づき説明）
	委員長	事務局から説明のあった内容について、質問や意見はあるか。
	委員	これは単純に、南方町なので「南方小学校」ありきで検討してはだめなのか。
	委員	「南方小学校」を案として、アンケートを取るということか。
	委員	アンケートを取るまでもないというか、「資料２」の「パターン１」で選定することとして、この委員会の中で賛成していただければ「南方小学校」で決定してはいかがかと思ったのだがだめか。
	委員	人口的には、中央地区が多いと思うので、アンケートをとれば当然中央地区の意見が強くなると思う。中央地区の多数の意見で校名案がすんなり決まっていいのかという問題があると思う。 ３地区ある中で、南方中央出身、南方小学校出身が多いわけだから、そういうふうに希望が制限されてしまうことはないのかという懸念がある。
	事務局	校名の検討について、南方地域は、先行して校名を検討した津山・東和・米山地域とは違った考え方になると考えている。理由としては、先行して校名を検討した地域では、町域名を冠した小学校がなかった。例えば米山地域では米山小学校という学校はなかったが、南方地域においてはすでに町域名を冠した南方小学校があるという点が、ほかの地域とは異なる。事務局としては多くの意見をいただいて集計してはいかがか

		という考えはある。ただ、その方法についてはこの委員会で検討していただきたい。津山・東和・米山では、集計結果は圧倒的に町域名が多い結果だったが、特に子どもたちからはいろいろな発想の校名案が寄せられた。募集結果を公開したときに、いろいろな意見があがった中で校名を決めたことが分かるような形になるようにこれまでは進めてきた。それを踏まえて、どのような決定方法が良いか検討していただきたい。
	委員	結局は、多数決で決めることになるのか。
	事務局	そのようになる。例えば、集計した結果「南方小学校」という校名案が圧倒的に多かったとなれば、そこで決まることになる。その中でも、様々な校名案が応募されるので、そういうところを踏まえたとすれば、みんなで考えたんだということを知ってもらうことができる。各委員は団体の代表として出席しているので、この場で「南方小学校」にすると決めることもできるが、校名は大事なので一度所属に戻って検討するというもの一つの方法である。団体の代表としてこの場で決められれば議事の進行はスムーズだが、責任が重いと感じるようであれば、一度各所属に戻って所属の意見を聞いて、パターン２が良いとか、別のパターンが良いとか、パターン１として南方ありきで進めて良いんだとか、検討するのも一つの方法だと思っている。
	委員	保育園では、米山、佐沼、北方などから通園している子どもがいる。南方という名称ありきにしてしまうと、学区外に住む人たちが通学できないような印象を与えるのではないか。(理由があって) 学区外から通学する子どもやその保護者にも配慮した方が良い。
	委員長	パターン１とするか２とするか、ここで決めないといけないか。
	委員	今回でなくてもいいのではないか。
	事務局	事務局としては今回の会議で決定するスケジュールで進めたいと考えているが、先ほどお話ししたように、一度各団体に戻って検討することもできる。早め早めで進める方が良いと説明しているが、まだ開校までは２年ある。校名は大事だから時間をかけたいというのがこの委員会の考えであれば、それに応じられるようにする。
	委員	私も校名はその学校をあらわす一番重要なものだと考える。校章も校歌もあるが、やはり校名だろう。先日当校の５年生が、学芸会に向けて劇の脚本を創作した。内容は、今年 150 周年だということと、あと数年で閉校を迎えるということを踏まえ、いまの子どもたちの姿、過去の子どもたちの姿、未来に向かう子どもたちを描いた脚本だった。担任と子どもたちの想いが組み込まれた、大変素晴らしい脚本だ、これがどんな劇になるのだろうと思いながら読んだ。子どもだったらどんな夢や希望をもってこの学校に入っていくのか、または自分がこの学校に入るわけではないが、これからの子どもたちにこのような想いをもって進んでいってほしいという、夢を語れるような南方地区を考えていこうと思うと、先ほどの話のように、採用されるかどうかは別として、子どもたちに未

		来の南方の小学校を考えさせることも意義のあることだと思った。そこで、主役である子どもたちの想い、考え、そこからこういう名前もいい、こういう考えもあるのかということを、我々自身も気づかせてもらうこともあるのではないかと思った。一度戻って検討するということであれば、私も賛成である。一度時間をとって、職員とも検討し、こういうかたちで進めていくのがいいという、校内の案を、次の回に持って来ることができればと考える。
	事務局	大変重要な思いを聞かせていただいた。 確認だが、事務局の提案としては公募して決めるというものだが、資料２のパターン１のとおり委員会内で校名を決めるのか、それともパターン２として校名案を公募するのかというところも、持ち帰って決めるということでよろしいか。
	委員	ここで決めていいのではないか。
	事務局	ちなみに、議事１で検討した「学校づくりに関する意見募集」は、南方地域にゆかりのある人であれば応募できるとするものであり、資料２のパターン２のＣに該当する。これを基準に考えると判断しやすいのではないか。
	委員	Ｃが良い。 （Ｃが良いとの声が複数あり）
	委員長	Ｃが良いとの声があがっているが、Ｃ以外の意見はあるか。 （なし）
	委員長	意見がなければ、Ｃに決定して良いか。 （異議なし）
	委員長	では、選定方法はパターン２のＣ*に決定する。 *パターン２のＣ 公募とし、次のいずれかに該当する人が応募できる。 (1)　登米市南方地域に住んでいる人 (2)　登米市南方地域の小中学校に通学している児童生徒とその保護者 (3)　登米市南方地域の幼稚園・保育所に通園している子どもの保護者 (4)　登米市南方地域にゆかりのある人（以前住んでいた人、事業所に勤務している人など））
	事務局	事務局から提案だが、いま校名案を公募することを決定していただいたので、議事１で検討した学校づくりに関する意見募集の応募用紙に、今後校名案の公募も行う旨の告知を盛り込んではいかがか。

		（異議なし）
	事務局	では、そのように変更する。
	委員長	次に、議事３「その他」について、委員から何かあるか。
		（なし）
	委員長	なければ、事務局から何かあるか。
	事務局	次回の会議日程について、可能であれば本日決定していただきたい。事務局案としては、11 月 28 日(木)を考えている。
	委員長	次回の会議は、11 月 28 日(木)でよいか。
		（異議なし）
	委員長	それでは、次回の会議は 11 月 28 日(木)午後７時からとする。詳細は、後日事務局から通知する。
		ほかになければ、議事は以上とする。進行を事務局に戻す。
		以上で、第２回南方地域開校準備委員会を閉会する。
		閉会　午後８時 10 分